



所内 第13回写真コンクール 参加作品「飛驒川の甌穴」地質部 河田清雄

### 「飛驒川の甌穴」

木曾御岳火山の北麓に源を発する益田川は、中山七里などの溪谷美で知られ、高山線の車窓からその景観をほしのままにすることができる。益田川は美濃山地にはいると飛驒川とよばれる。飛驒川は濃飛流紋岩と古生層を刻んで南下し、木曾川に合流する。飛驒川には甌穴群がよく発達し、とくに飛水峡の甌穴群は天然記念物に指定されている。この甌穴は飛水峡よりさらに上流のもので、いわゆる渦動穴 (eddy holes) とよばれるものである。直径0.3~0.4m、深さ約0.3mで、川底に露出する花崗斑岩の岩脈に生じている。この付近では広い谷底に甌穴群の集合がみられ、とくに軟弱な岩石に著しい傾向がある。渦動穴の形は、流水の供給エネルギー作用する磨石具の大きさ、密度、および基盤岩の構造などで決定される。写真の甌穴は現在もなお活動中のもので、増水時にはもちろん流水の侵蝕を受けているわけである。甌穴のなかには、しばしば円礫がみいだされることがある。

### ~~地質調査所の出版物~~

・地質調査所月報 第18巻 第6号

報文

村下敏夫・岸 和男：地下水の塩水化についての研究 第1報

——熔岩帯水層の水理地質学的性質——

池田喜代次：地下の塩水化についての研究 第2報

——塩水化地下水の地球化学的研究

岸本文男・加藤甲王：長崎県対州鉾山大奈 100 号立入坑における水銀の分布について

柳原親孝・藤原孝次：福島県二本松市 岳温泉源泉地の試錐調査

### 資料

火成作用の起こりうる深部条件について (矢部記)

地質ニュース	第155号	7月号
昭和42年7月25日	定価	¥220
編集	発行	〒12
発行人	工業技術院	地質調査所
発行所	林 久	雄
	株式会社	実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (251) 7 1 7 3	・ 9 3 8 7
	振替口座	東京 3 2 4 6 6
総発売元	政府刊行物販売所	
	東京都千代田区大手町1の5	
	Tel. (211) 5 5 7 0	
印刷所	共同印刷株式会社	